

第10回自治体災害対策全国会議

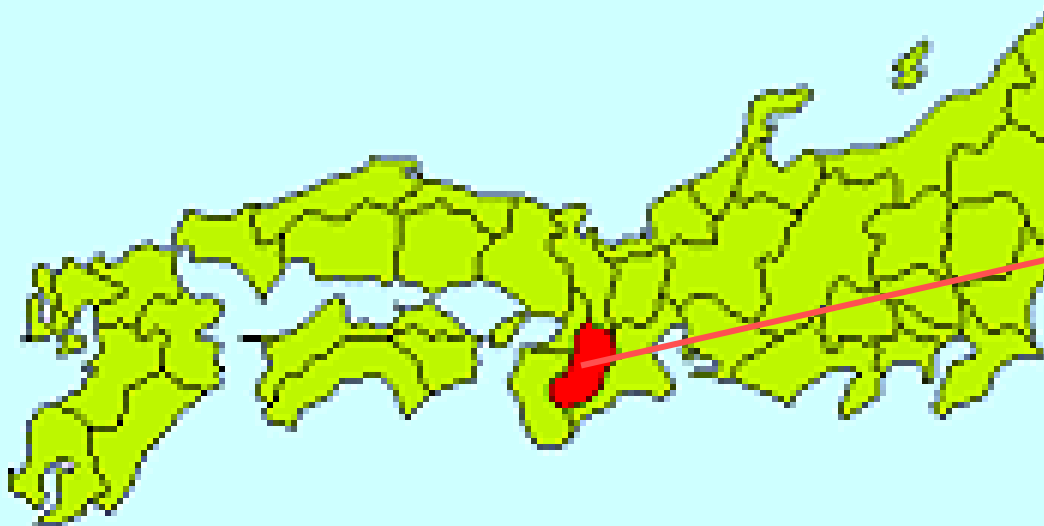
橿原市における災害対策本部の 機能強化

令和2年11月13日

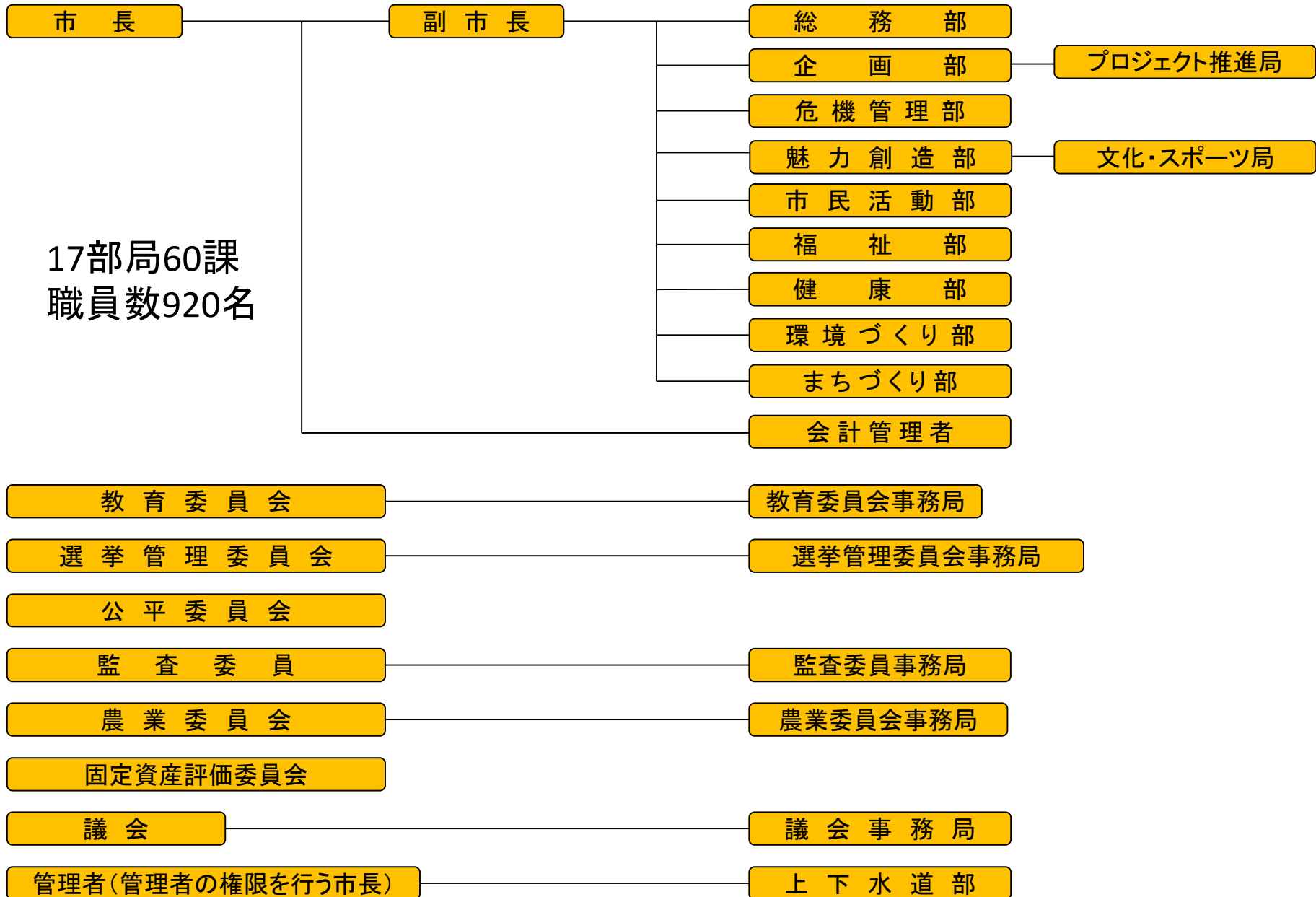
奈良県橿原市役所
危機管理課 山本知巳

橿原市の紹介

- 奈良県のほぼ中央に位置
- 東西7.5km、南北8.3 km、面積39.52km²
- 人口約12万1千人
- これまでに大きな災害の経験がない



檀原市組織図(平常時)



檀原市災害対策本部組織図(災害時)

本部会議	
本部長	市長
副本部長	(災害担当統括) 副市長
	(復興担当) 副市長
	(教育担当) 教育長 *1
本部付	消防団長 政策統括監 生活安全監 *2
本部員	総合調整統括 各部長

*1 避難支援・学校部統括

*2 対外機関調整対応

総合調整統括	統括本部班	○危機管理課 契約検査課(検査係担当除く)
危機管理監 (副統括) 危機管理部副部長	情報戦略部 (部長)企画部長 *3 (副部長)企画部副部長	戦略班 情報班
		○企画政策課 ○広報広聴課 情報政策課 *3 報道担当
	対策資源部 (部長)総務部長 (副部長)プロジェクト推進局長 議会事務局長*4	人員調整班
		○人事課 選挙管理委員会事務局 監査委員事務局 農業委員会事務局
		資源管理班
		○資産経営課(営繕係担当除く) 分庁舎管理室
		庶務班
		○総務課 秘書課 会計課 議事課 *4 議会対応

生活再建支援プロジェクト (部長)政策統括監 (副部長)総務部副部長	
り災証明発行チーム	○資産税課 収税課 情報政策課(兼) 住宅政策課(兼) 建築指導課(兼)
生活再建窓口チーム	○福祉部副部長 市民税課 福祉総務課(兼) 全庁
復興プロジェクトチーム	○企画政策課(兼) 全庁

避難支援・学校部 (部長)教育総務部長 (副部長)生涯学習部長・文化スポーツ局長	
統括班	○教育総務課(調理場除く) 学校教育課(兼)
避難所班	○社会教育課 白樺共同調理場 学校教育課 人権教育課 子ども発達支援課 文化振興課 スポーツ推進課 飛騨コミュニティセンター 大久保コミュニティセンター 各小学校 各中学校 各保育所(兼) 各幼稚園(兼)
文化財班	○文化財課 今井町並保存整備事務所

食料物資部 (部長)魅力創造部長 (副部長)市民活動部長	
統括班	○地域振興課
調達配給班	○市民協働課 観光政策課 農政課 世界遺産登録推進課 市民窓口課 人権政策課

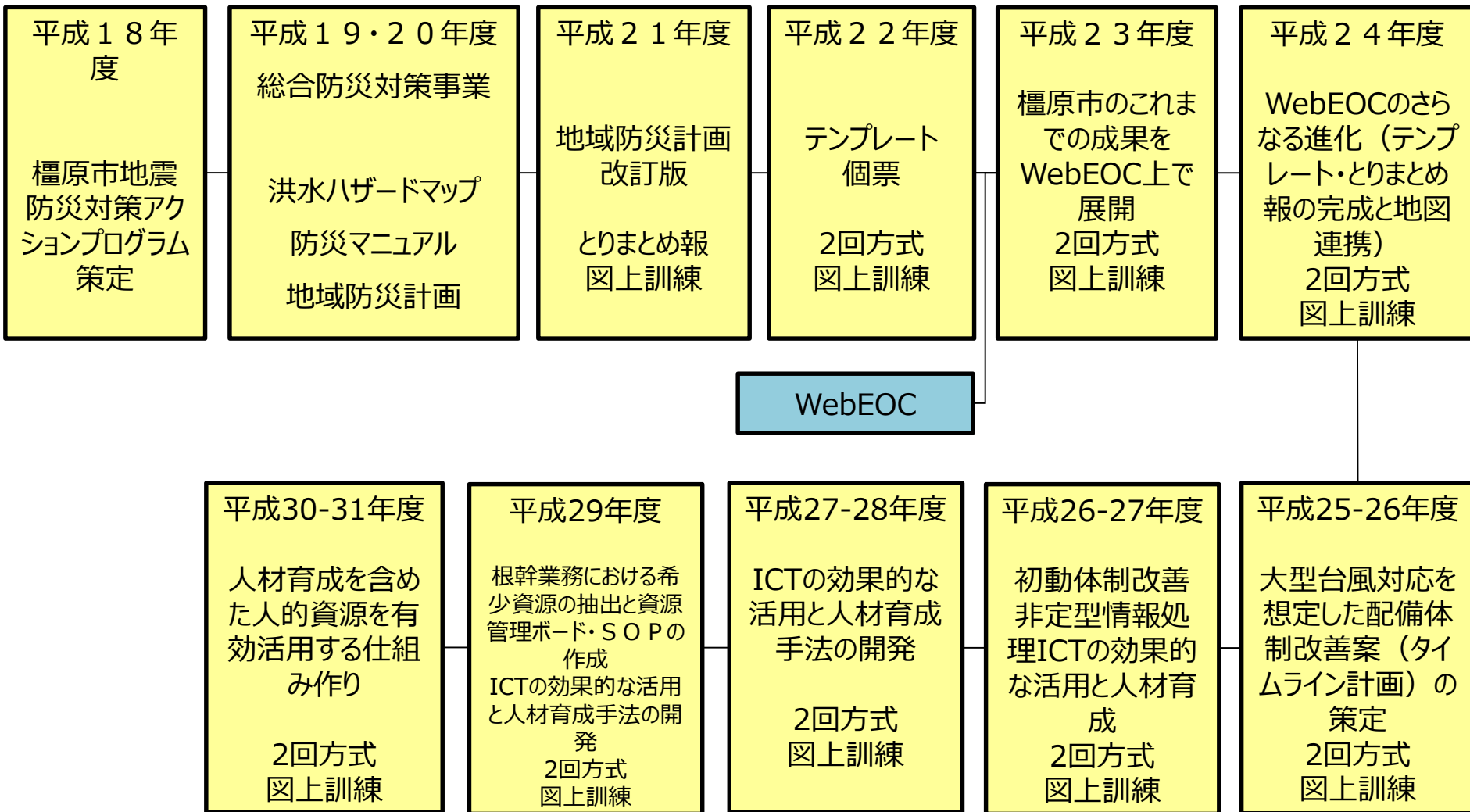
福祉救護部 (部長)福祉部長 (副部長)健康部長	
統括班	○福祉総務課
救護防疫班	○健康増進課 保険医療課 生活福祉課(兼) 保健活動グループ (保健師連絡会)
要配慮者 支援班	○介護保険課 障がい福祉課 地域包括支援課 子育て支援課 子ども未来課 各保育所 各幼稚園
身元不明者 対応班	○生活福祉課 市民窓口課(兼) 環境衛生課(兼)
ボランティア 支援班	○社会福祉協議会

生活基盤部 (部長)まちづくり部長 (副部長)まちづくり副部長	
統括班	○建設管理課
土木施設班	○道路河川課 都市計画課 緑地景観課 市街地整備課 庁舎整備課
建築物対策班	○住宅政策課 建築指導課 資産経営課営繕係担当 契約検査課検査係担当

上下水道部 (部長)上下水道部長 (副部長)上下水道副部長	
統括班	○経営総務課 下水道課(兼)
応急給水班	○上水道課 経営総務課(兼)
復旧班	○下水道課 上水道課(兼)

環境部 (部長)環境づくり部長 (副部長)環境づくり副部長	
統括班	○環境衛生課 がれき処理班
	○環境企画課 環境業務課 環境保全課 (浄化センター除く)
し尿処理班	○浄化センター

災害対応業務の継続的改善



職員参画WS

災害対策本部組織の各部各班から職員を選出していただき、職員参画によるワークショップ(WS)においてテーマに基づいた検討を毎年、継続的に実施



これまでのWS実績

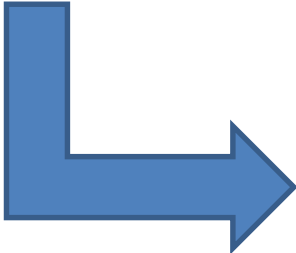
開催年度	WS開催回数	生成された成果物
平成21年度	6回	とりまとめ報(市、各部局)
平成22年度	6回	テンプレート(各災害対応業務)
平成23年度	7回	とりまとめ報とテンプレートをWebEOCに反映
平成24年度	6回	WebEOCのさらなる進化(とりまとめ報とテンプレートの完成と地図連携)
平成25-26年度	8回	大型台風を想定したタイムライン計画の策定
平成26-27年度	7回	大型台風を想定した初動期の対応における効果的な情報処理(定型情報・非定型情報)
平成27-28年度	7回	根幹業務における希少資源の抽出と資源管理ボード・SOPの作成
平成29年度	6回	WBSとアクションカードの修正、GIS利用業務の抽出、コミュニケーションルールの検討
平成30-31年度	8回	実対応のふりかえりの構造化 業務フロー図作成とアクションカード修正

WS開催回数 61回

アクションカード化

檜原市地域防災計画の災害対応業務のリスト(WBS)をやるべきことがより明確にわかるようにアクションカード化

レベル1	レベル2	レベル3	フォーム	
1 委員会マニュアル (委員会は不当要求行為等の対策を統括する)	1-1	委員会が不当要求行為等の未然防止及び啓発する		
	1-2	委員会が不当要求行為等に対する対応方針及び事後措置の協議検討する		
	1-3	委員会が会議を開催する	1-3-1	委員長が委員を招集する
			1-3-2	人事課が資料作成する
			1-3-3	委員長が会議を開催する
		1-3-4	委員会が対応方針を周知徹底する	
		1-3-5	委員会が不当要求行為等に関する情報を各部署で交換・連絡調整する	
2 所属長マニュアル (所属長は不当要求者への対応準備する)	2-1	所属長が対応責任者を指定する		
	2-2	所属長が教育・職場講習を実施する		
	2-3	所属長が職員迅速な報告のために環境を整備する		
	2-4	所属長が警察署との担当窓口を設ける		
3 対応責任者マニュアル (対応責任者は不当要求者等に対応する)	3-1	対応責任者が警察との連携を密にする		
	3-2	対応責任者がノウハウ集を読む		
	3-3	対応責任者が初期に対応する	3-3-1	
			3-3-2	
			3-3-3	
3-4	対応責任者が対応計画を立てる			
3-5	対応責任者が事後に対応をする			



対応 34：文化財対応

34-1-1 避難支援・学校部が文化財被災状況の調査体制を確立

34-1-1-1 文化財担当が文化財被災状況調査及び被災文化財応急措置に係る必要員数を把握

34-1-1-2 文化財担当が文化財被災状況調査機材を確保

34-1-1-3 文化財担当が文化財被災状況調査体制及び被災文化財応急措置専門員を確保

34-1-1-4 文化財担当が文化財被災状況調査体制を整備

34-1-1-5 文化財担当が被災文化財応急措置委託業務を発注

34-1-1-6 文化財担当が文化財被災状況調査員の導入を確認

34-1-1-7 文化財担当が被災文化財応急措置専門員の導入を確認

文化財担当が文化財被災状況調査員及び被災文化財応急措置専門員を確保 する

↓ しごと内容とながれ	完了確認★
①文化財担当が文化財被災状況調査員・被災文化財応急措置専門員の要請数を確定	✓
②文化財担当が文化財被災状況調査員・被災文化財応急措置専門員の受入体制を確保	✓
③文化財担当が県教委（文化財保存課）に文化財被災状況調査員・被災文化財応急措置専門員の派遣を要請	✓
④文化財担当が文化財被災状況調査員・被災文化財応急措置専門員の宿泊先を決定	✓

付属情報 [コソ](#) [おの](#) [タケ](#) は、
次頁（裏面）に記載されています。

対応 34：文化財対応

34-1-3 行属情報 [コソ](#) [おの](#) [タケ](#)

コソ ① 文化財担当が文化財被災状況調査員・被災文化財応急措置専門員の要請数を確定
⇒ 調査員配置計画書、被災情報一覧表、応急措置専門員数配置計画書

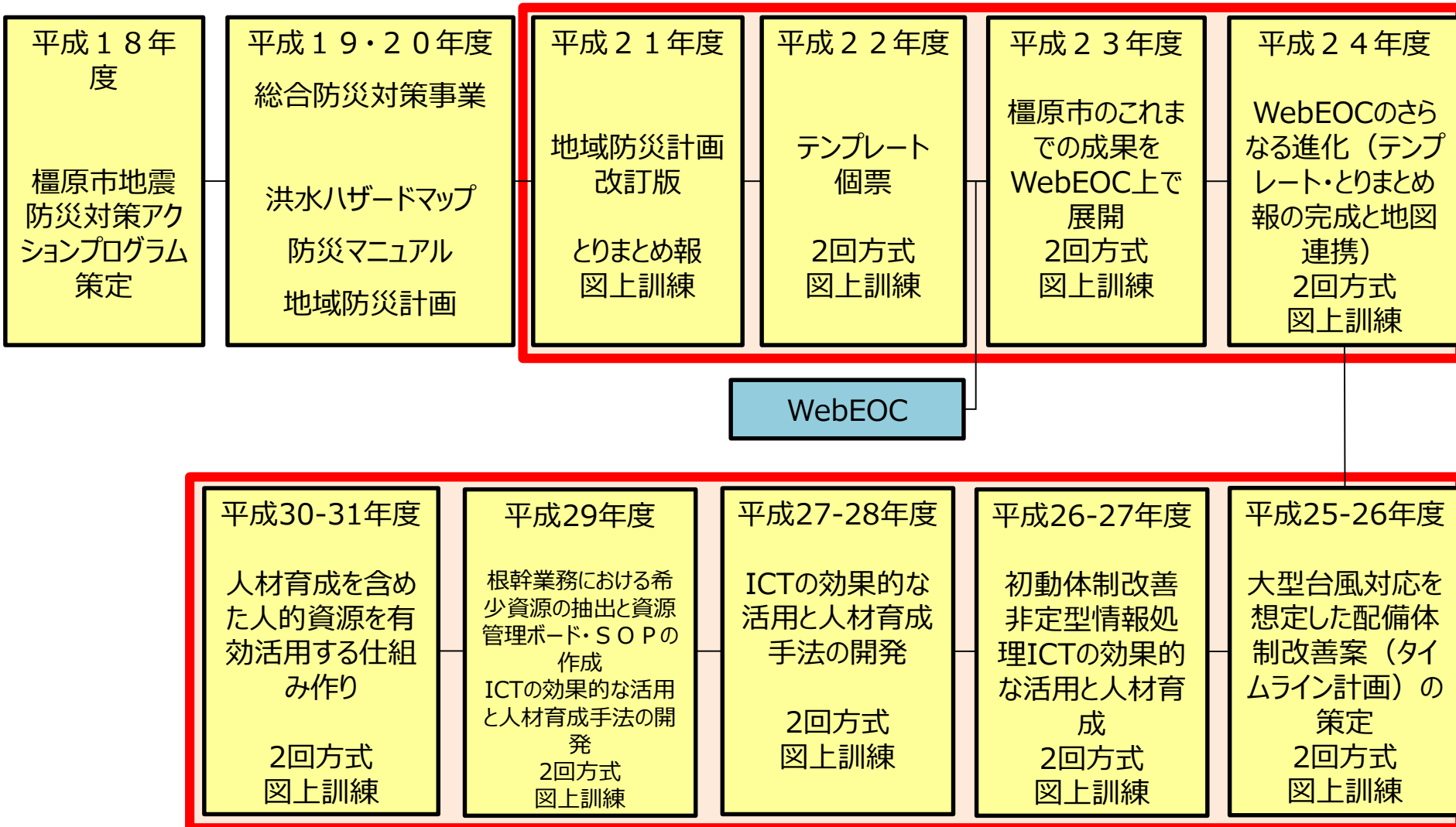
コソ ② 文化財担当が文化財被災状況調査員・被災文化財応急措置専門員の受入体制を確保
⇒ 調査員宿泊所確保、応急措置専門員宿泊所確保

おの ③ 文化財担当が県教委（文化財保存課）に文化財被災状況調査員・被災文化財応急措置専門員の派遣を要請
⇒ 調査員要請書、応急措置専門員要請書

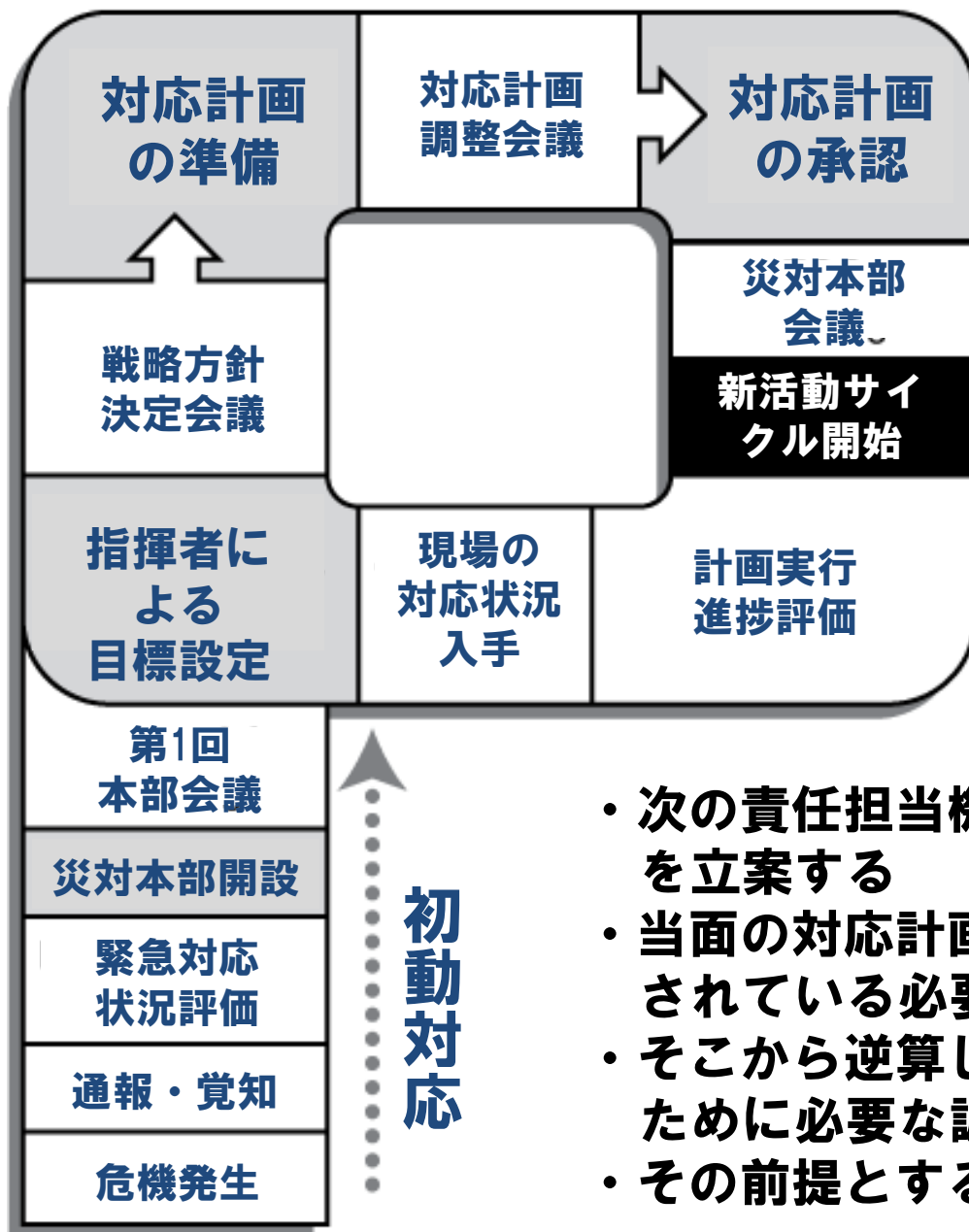
コソ ④ 文化財担当が文化財被災状況調査員・被災文化財応急措置専門員の宿泊先を決定
⇒ コソ、調査員一覧表、応急措置専門員一覧表、調査員宿泊所一覧、応急措置専門員宿泊所確保

付属情報 [コソ](#) [おの](#) [タケ](#) は、
次頁（裏面）に記載されています。

災害対応業務の継続的改善



災害対策本部の活動サイクル (Planning P)



広報

- 次の责任担当機関に向けて当面の対応計画を立案する
- 当面の対応計画は災害対策本部会議で承認されている必要あり
- そこから逆算して、当面の対応計画作りのために必要な調整を行う
- その前提とする状況を把握する

次の活動サイクルでの計画作り

部間の調整、市としての
スタンス決定

危機対策本部の 活動サイクル (Planning P)

部対応
計画の
準備

実施計画
調整会議

対応計画
承認

そのために必要となる活
動、資源の同定

对本部
会議

部方針
決定会議

新活動サイ
クル開始

広報

現在の活動サイクルでの
対応状況把握

市長の想いを部の活動に
どう反映させるか

計画実行
進捗評価

市長から、地域防災計画
には～とあるが、どうか

第1回
本部会議

災对本部開設

緊急対応
状況評価

初動対応

現場での状況を集約し、
問題点を明らかにすると
ともに、必要な対応を実
施する

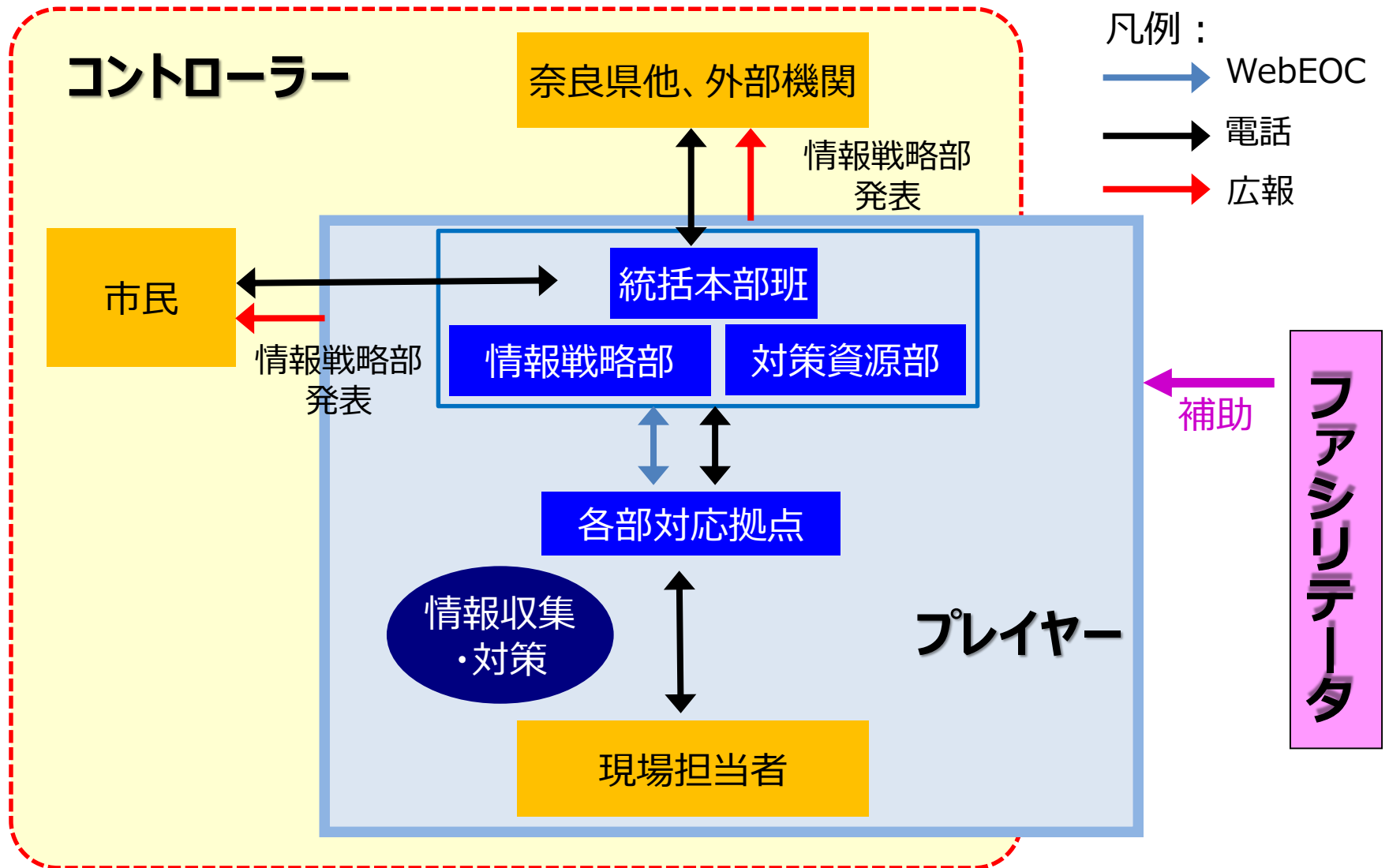
活動サイクルで危機対応
体制・計画の立案

通報・覚知

危機発生

- 現場での対応と効果的にするための支援
- 関係機関との間の協力・連携のための調整
- 広報対応

図上訓練の範囲と通信手段



訓練参加者と訓練場所

訓練参加者	訓練場所
本部長	災害対策本部執務室
副本部長	
本部付	
本部事務局長・本部事務局副局長・本部事務局各班長・WSメンバー	
食料物資部長・連絡調整員	
福祉救護部長・連絡調整員	
環境部長・連絡調整員	
生活基盤部長・連絡調整員	
避難支援・学校部長・連絡調整員	
上下水道部長・連絡調整員	
生活再建支援PJT部長・連絡調整員	
食料物資部副部長、班長、WSメンバー	各部活動拠点(7箇所)
福祉救護部副部長、班長、WSメンバー	
環境部副部長、班長、WSメンバー	
生活基盤部副部長、班長、WSメンバー	
避難支援・学校部副部長、班長、WSメンバー	
上下水道副部長、班長、WSメンバー	
生活再建支援PJT副部長、班長、WSメンバー	



災害対策本部執務室



部活動拠点



調整会議

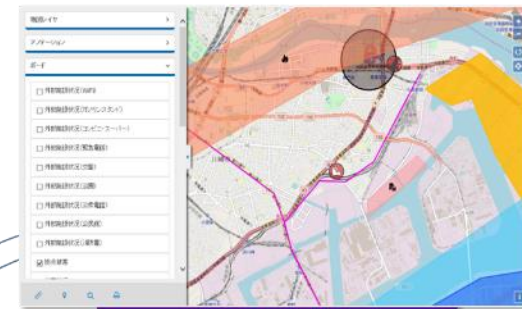


本部会議

WebEOCとは

WebEOC®は危機管理のコミュニケーションを集約するWebブラウザベースの情報共有プラットフォーム。あらゆる規模の組織に対し、完全な状況認識の統一と迅速なインシデント対応を実現。

- EOC : Emergency Operation Center
- 米国で1997年にスタート
- 世界で750以上の公共機関・企業に導入される
- 米国州の8割がWebEOCを導入
- デファクトスタンダードなツールである



地図ツールと情報連携
×
戦略的な意思決定

ID	名称	状況	優先度	担当者	開始日時	終了日時	完了率	コメント
7
6+
2
1
4
5-
6-
5-
6+

あらゆる情報を
リアルタイム可視化
×
状況認識の統一

ID	名称	状況	優先度	担当者	開始日時	終了日時	完了率	コメント
100
100
20
27
24

タスクの進捗管理を一元化
×
迅速・確実な
コミュニケーション

日本での利用実績

日本国内においても中核を担う公共機関や各業界のリーディングカンパニーで利用されており、危機管理時の情報共有プラットフォームとして活用 の場が広がり続けています。

▼ 2018/2/27 奈良新聞引用

官公庁

中央省庁・京都府 他 関東、関西、北陸エリアの自治体 など

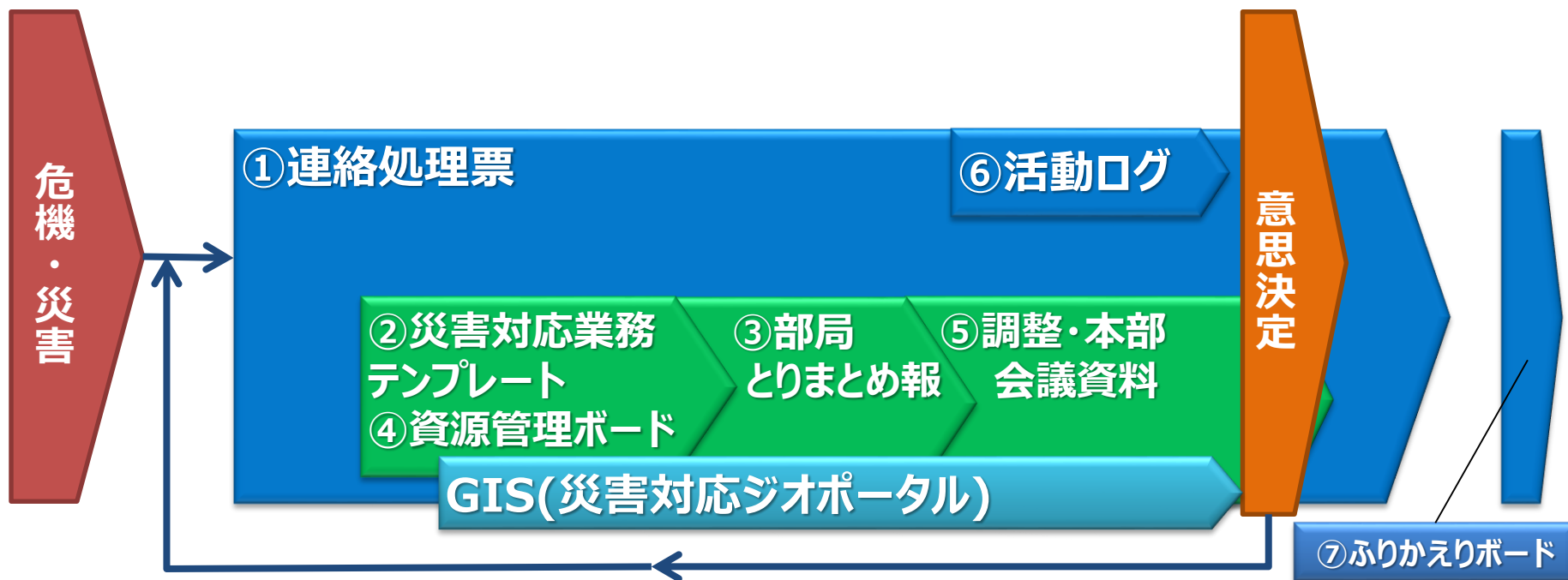
民間企業

大手電力会社・水道局・道路事業・不動産会社・NTTグループ など



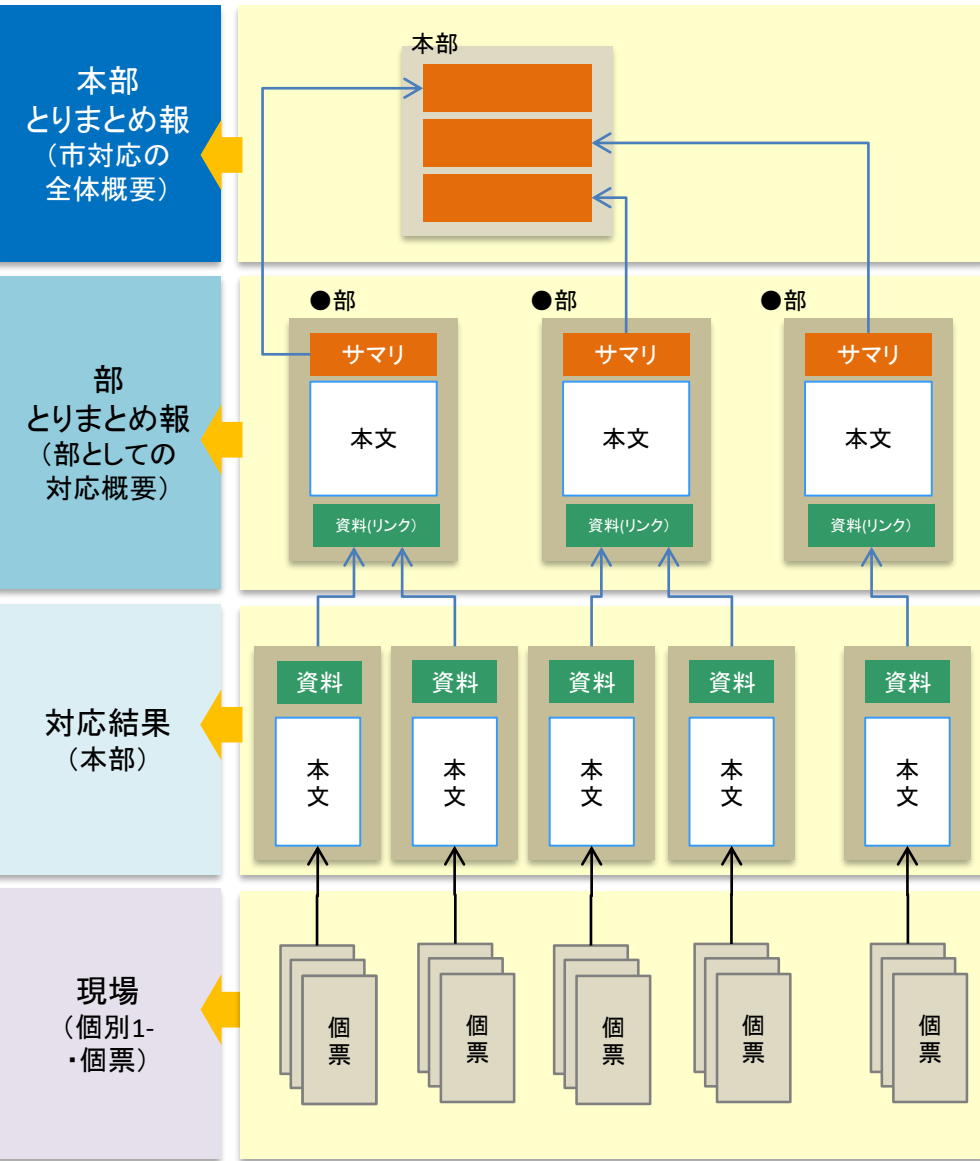
訓練におけるWebEOC活用の流れ

- ◆ ①連絡処理票と電話を使って、情報収集や対応指示を実施
- ◆ 収集した情報を②災害対応業務テンプレートを使って整理・集約
- ◆ ②災害対応業務テンプレートを元に、③部局とりまとめ報を作成
- ◆ 対応の際に不足し、調達が必要となる希少資源は④資源管理ボードで管理
- ◆ GIS(災害対応ジオポータル)の地図上で各災害対応業務テンプレート（一部）の情報を俯瞰する
- ◆ 収集した情報を元に⑤調整・本部会議資料を作成し、調整会議にて方針案を検討、本部会議にて市としての方針を決定
- ◆ 継続的対応のため、引継事項を⑥活動ログに記録
- ◆ 終了後、振り返りを行い、⑦ふりかえりボードに良かったこと、悪かったことを記録



※①～⑦がWebEOCでの実現機能

災害対策本部での情報のとりまとめ



本部会議

調整会議

部としての対応(現場)

IAP

WebEOCの画面との対応

<本部事務局統括班 調整・本部会議資料管理 とりまとめ報>

This screenshot shows the '本部事務局統括班 調整・本部会議資料管理 とりまとめ報' (Main Department Secretariat General Office Adjustment/Meeting Material Management Summary Report) screen. It features a table with columns for '議題' (Agenda), '議題概要' (Agenda Overview), '議題内容' (Agenda Content), and '議題結果' (Agenda Results). The '議題概要' column is highlighted in blue and contains the text '今後の方針' (Future Policy). The '議題内容' column is highlighted in orange and contains the text '概況' (Overview) and '課題' (Issues). The '議題結果' column is highlighted in red and contains the text '決定事項' (Decisions). Callouts indicate that the '調整会議で整理 決定事項の案も含む' (Organized in adjustment meeting, including decision items) and '本部会議で決定' (Decided in department meeting) are related to the '決定事項' section.

<各部局班 とりまとめ報>

This screenshot shows the '各部局班 とりまとめ報' (Department Summary Report) screen. It features a table with columns for '議題' (Agenda), '議題概要' (Agenda Overview), '議題内容' (Agenda Content), and '議題結果' (Agenda Results). The '議題概要' column is highlighted in blue and contains the text '提出者・概況・課題' (Proposer, Overview, Issues). A callout indicates that this information is submitted by '各部局長or副部長名で提出' (Submitted by department heads or deputy heads).

<関連業務テンプレート> 担当部局班毎に関連業務テンプレートに入力

This screenshot shows the '関連業務テンプレート' (Related Business Template) screen. It features a table with columns for '議題' (Agenda), '議題概要' (Agenda Overview), '議題内容' (Agenda Content), and '議題結果' (Agenda Results). The '議題概要' column is highlighted in blue and contains the text '人的被害状況' (Human Casualty Status). The '議題内容' column is highlighted in orange and contains the text '避難状況' (Evacuation Status).

連絡処理票

一覧画面

連絡処理票											図上訓練H28	新規作成	
重要	緊急	全部局	目部局宛て	自部局から依頼	本文検索	検索	クリア	ID検索	検索	クリア	対応状況	送信元 or 送信先	分類
レコード No.	ID	重要	緊急	対応状況	起票日時	送信元/送信者	送信先	件名	内容	回答	回答画面		
3992		重要			2016/10/11 16:04:55	本部統括班 本部統括班担当	全体共有	【周知】 【各部活動拠点】活動ログへの入力依頼	各部活動拠点は、以下の観点から活動ログへの入力をお願いします。 ・交代要員への引継ぎ事項 ・ノウハウ、ポイント《承認者：》		☑		
3775	3747			未対応	2016/10/11 15:02:20	本部統括班 寺本 一樹	本部事務局情報班	【その他】 ライフラインの状況について	水道が使えない箇所として、白檀南小学校・白檀北小学校・白檀中学校・白檀地区公民館・光陽中学校・畝傍東小学校 電気が使えない箇所として、畝傍中学校です。《承認者：》	■10/11-15-03【本部情報班-川野 勝輝】確認 ■10/11-15-03【福祉救護防疫班-阪本 梓】確認 ■10/11-15-23【上下水道給水班-中村 拓哉】 水道が使えない理由は、 停電 管破損 断水のため 等原因はわかりますか。《承認者：》	☑ ☑ ☑		
3613		重要			2016/10/11 14:28:28	本部統括班 立土満浩	全体共有	【周知】 調整会議の開催	調整会議を15:30より開催します。各部はとりまとめ報の作成してください。《承認者：》	■10/11-14-34【上下水道統括班-加井 大補】確認	☑		
3559				完了	2016/10/11 14:25:13	本部統括班 寺本 一樹	全体共有	【対応依頼】 被災状況確認(かしはら安心パーク)		■10/11-14-28【生活基盤建築班-浅田善規】確認	☑		

入力画面

連絡処理票(新規)

ID:	
起票日時:	<input type="text" value="2018/02/13 17:02:07"/>
送信元:	<input type="text" value="本部統括班"/>
送信者:	<input type="text" value="榎原太郎"/>
送信先:	<input type="text" value=""/>
重要: (事態の深刻性)	<input type="checkbox"/> 影響が大きい場合はチェック
緊急: (時間的切迫性)	<input type="checkbox"/> 他の仕事を中断してもやるべき要件の場合はチェック
分類:	<input type="radio"/> 周知 <input type="radio"/> 対応依頼 <input type="radio"/> 資源要求 <input checked="" type="radio"/> 電話対応記録 <input type="radio"/> その他
対応状況:	<input checked="" type="radio"/> 未対応 <input type="radio"/> 対応中 <input type="radio"/> 完了
件名:	<input type="text" value=""/>
内容:	<div style="border: 1px solid #ccc; height: 40px; width: 100%;"></div>
承認者:	<input type="text" value=""/>
添付:	<input type="button" value="+"/> <input type="button" value="参照..."/>
<input type="button" value="保存"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

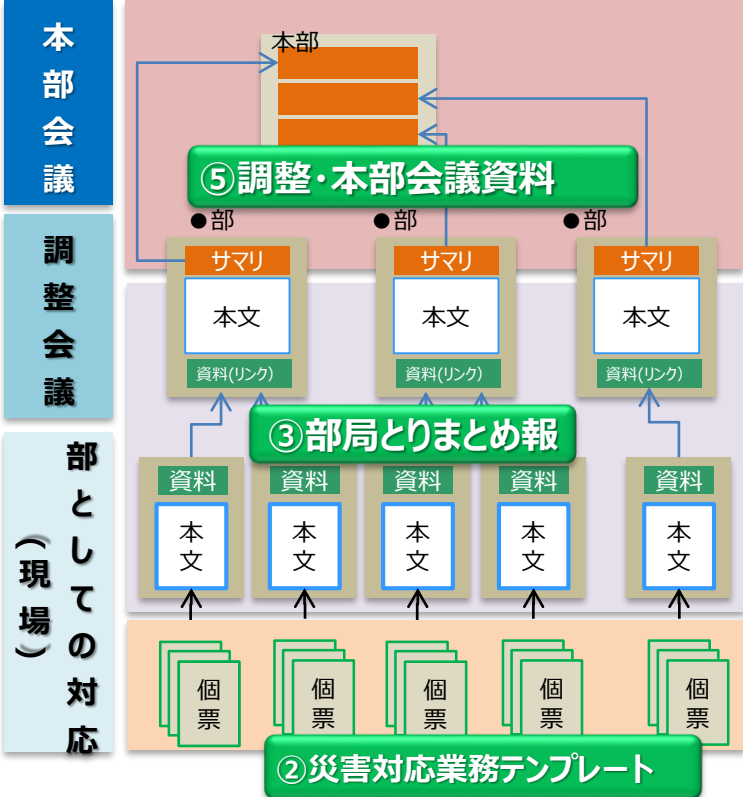
内部組織の対応状況や外部機関の対応状況、連携状況が情報共有され、状況認識の統一が可能

災害対応業務テンプレートと部局とりまとめ報

部局とりまとめ報

主に活動拠点で
部局毎に作成

本部とりまとめ報の構成



<各部局班 とりまとめ報>

本部事務局 情報班 とりまとめ報
操作テスト

印刷 会議資料

開始日時: 06/03/2015 19:38:08
終了日時:
インシデントイベントタイプ: 操作テスト

1. ハザードの情報
- 震度情報【奈良地方気象台、インターネットより】
06/03/2015 19:38:08 なし
- 気象情報【奈良気象台、インターネットより】
奈良県橿原市に大雨洪水警報が発表

2. 市内の被害情報
- 人的被害状況【福原警察、中川IC電報局より】 0202M02、0202M03、0202M04 テラ情報（人的被害）

死者	死者のうち身元不明者	重傷者	軽傷者	行方不明者
0	0	5	20	1

- 避難状況 0202M02、0202M03、0202M04 テラ本部、已報報（人的被害）(避難状況ビュー)

避難種別	避難対象地域	避難対象世帯数	避難対象人数
避難準備情報	耳成	200	600

- 建物被害 0202M02、0202M03、0202M04 テラ情報（建物その他被害）

全壊(全壊・全流出)棟数	半壊(半壊)棟数	一部長損棟数	床上浸水棟数	床下浸水棟数
10	9	8	7	6

- 火災状況 0304M01 テラ消化活動
- 消防【中和広域消防、消防団より】
火災発生地(町名) 太田市市民館南側付近 火災現場 炎上中
太田市171

3. 民営ライフラインの被害情報 0202M02、0202M03、0202M04 テラ情報（ライフライン被害）
- 電気、ガス、通信
- 国内電力

4. その他

自由記述

5. 今後の状況予測

自由記述

6. 今後の対応目標

自由記述

保存 キャンセル スペルチェック

<各部局班 災害対応業務テンプレート>

自動反映

新規レコード

保存 スペルチェック キャンセル レコードの取得

人的被害状況

ID 0

情報取得日時 2014/06/10 21:05:41

情報発信機関

地区名 耳成

町名

人的被害状況 死者 死者のうち身元不明者
0 0

その他被害状況

備考

新規レコード

保存 スペルチェック キャンセル レコードの取得

避難状況

ID 0

避難決定日時

避難

避難

災害対応業務テンプレート

資源管理ボード

④ 資源管理ボード

受入一覧

資源管理 受入一覧 操作テスト 資源登録

検索 クリア 調達区分 ▼ 大分類 ▼ 活動状況1 ▼ 活動状況2 ▼

レコード No.	提供元	調達区分	大分類	中分類	小分類 (単位)	個別識別情報	資源説明	活動状況	待機場所	資源備考	内訳	チェックイン	チェックアウト	更新日時	更新者	操作
136	キャラバン	内部	車両	移動用車両	庁用車	奈良 ● □□-□□		チェックアウト	駐車場	運転者 ■■■		08/19 14:40	08/19 14:41	08/19 14:46		編集
60	日本水道協会	外部	車両	特殊車両	2 m3前後の給水タンク車	ナンバープレート 大阪 3 9 0 ■■■■■■		チェックイン 利用可	駐車場	運転手 ■■■■■■		08/19 14:27	10/28 14:27	08/19 14:46		編集 新規貸出
65	本部	外部	車両	特殊車両	運搬車両 4t	ナンバープレート		チェックイン 利用可	駐車場	運転手		08/20 14:42		08/19 14:43		編集 新規貸出
62	日本水道協会	外部	車両	特殊車両	2 m3前後の給水タンク車	ね 9 9 - 0 1		チェックアウト	上下水道部 駐車場	運転手 ■■■■■■		08/18 14:26	08/18 14:27	08/19 14:41		編集
72	○●土木	外部	車両	建設重機	小型ダンプ(2~4t)	大阪 へ●●-●●		チェックアウト	万葉ホール	運転手 ■■■		08/11 14:30	08/17 14:30	08/19 14:40		編集
69		外部	車両	輸送用車両	トラック 4t	奈良 ○ ○ - ▲▲		チェックアウト						08/19 14:39		編集

受入一覧 資源管理 活動状況一覧 操作テスト

活動状況一覧

調達区分 ▼ 大分類 ▼ 割当先 ▼

レコード No.	調達区分	大分類	中分類	小分類 (単位)	個別識別情報	資源説明	活動状況	割当先	管理担当者	配備場所	内訳	貸出日	返却日	備考	更新日時	更新者	操作
49	外部	車両	特殊車両	2 m3前後の給水タンク車	奈良 ● ●●-●●●		活動中	上下水道部		●●●小学校		08/19 13:47			08/19 14:30		貸出管理
52	内部	空間	土地	市有地/公舎	住所 ●●●●	他自治体職員駐車場として利用	活動中	本部事務局資源管理班				08/19 13:37	09/09 13:37		08/19 13:37		貸出管理

調整・本部会議資料

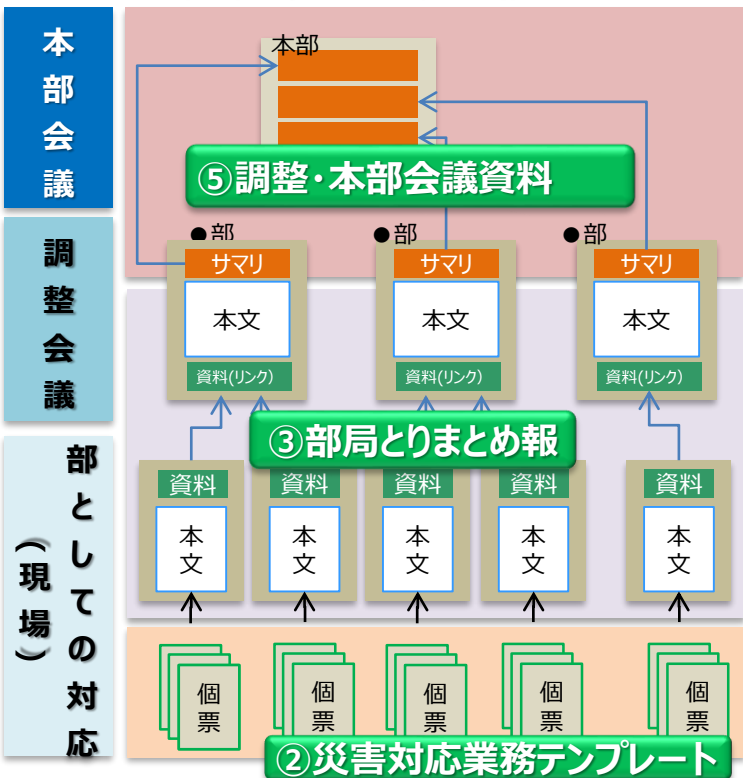
⑤ 調整・本部会議資料

提出後は、
統括本部班にて編集

<統括本部班 調整・本部会議資料>

調整会議で概況・課題の精査、
対応方針の検討と案を固め、
本部会議で対応方針を決定

本部とりまとめ報の構成



4つのカテゴリに集約

市とりまとめ報(部局とりまとめ)会議前草案
市とりまとめ報会議専断発行:

開始日時: 平成30年2月26日 15:00
終了日時: 平成30年2月26日 16:00
イベント: 閉院テスト
とりまとめ報編集者: 寺本

1. 市長方針

市長方針

全体概況

当面の対応方針

4. 1. 命を守る計画

福祉救護部
救護計画
概況
救護所を2箇所で開催
拠点病院は2箇所のみ受け入れ可能
遗体安置に関しては
在宅要介護者数は
福祉避難所の確保

命を守る計画 (使用)

4. 2. 社会のフローを復旧させる計画

生活基盤部
市の基幹業務の維持・早期復旧計画
概況
道路の状況
道路の状況
道路の状況
道路の状況

社会のフローを復旧させる計画

4. 3. 社会のストックを再建する計画

環境部
早期復興の実現
概況
早期復興の実現
早期復興の実現
早期復興の実現

社会のストックを再建する計画

4. 4. マネジメント計画

本部情報班
状況把握・資源管
概況
本部情報班
状況把握・資源管
概況

マネジメント計画

本部の部長と活動拠点の
副部長・班長と連携し、
部長(副部長)名で
自部局が該当する計画箇
所を作成

提出者・
計画名
概況
目標決定
対応決定

活動ログ

一覧画面

● 目的：部局／班内の引き継ぎ文書

● 内容：

- 活動報告、状況報告
 - 「未対応」「対応中」の事項
 - 今後の活動指示
 - 状況予測・課題・懸案事項
 - ノウハウやコツポイント
- など、班長が箇条書きで記載

● 記入単位：部局／班

● 記入のタイミング：随時、引き継ぎ前

※訓練時は、本部会議開催時に記録時間を確保

活動ログ		図上訓練H26	新規登録
編集		重要度： 本部事務局情報班	
日時	2014/07/10 16:53	現在通行止め ・耳成山東側米川極楽橋付近 ・畝傍高校東側 奈良橿線 ・兵部町橿原橋付近	
ポジション	*本部事務局情報班	・川西町2号線(橿原警察署 新沢連絡所付近) ・戒外町地内、膳夫町南山町線(万葉の森を抜ける道)土砂崩れ ・曾我町JR桜井線のアンダーパス	
入力者	本部事務局情報班担当	引き続き、道路状況把握に努める	

入力画面

活動ログ	
保存	スペルチェック キャンセル
タイトル	本部事務局情報班
優先度	<input type="text"/>
重要度	<input type="checkbox"/> ※重要度が高い場合はチェック
ステータス	<input checked="" type="radio"/> 投稿 <input type="radio"/> 削除
本文	現在通行止め ・耳成山東側米川極楽橋付近 ・畝傍高校東側 奈良橿線 ・兵部町橿原橋付近 ・川西町2号線(橿原警察署 新沢連絡所付近) ・戒外町地内、膳夫町南山町線(万葉の森を抜ける道)土砂崩れ ・曾我町JR桜井線のアンダーパス 引き続き、道路状況把握に努める
添付1	<input type="text"/> 参照...
添付2	<input type="text"/> 参照...
添付3	<input type="text"/> 参照...
添付4	<input type="text"/> 参照...
添付5	<input type="text"/> 参照...
保存	

GIS(災害対応ジオポータル)の機能概要

地形図や各種施設の場所などの静的情報や、災害時の避難所の開設状況や被害状況などの動的情報を重ね合わせて見ることで、様々な状況を読み取り、迅速な活動を行うことができます。

レコードの追加

操作 地図

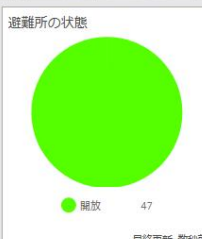
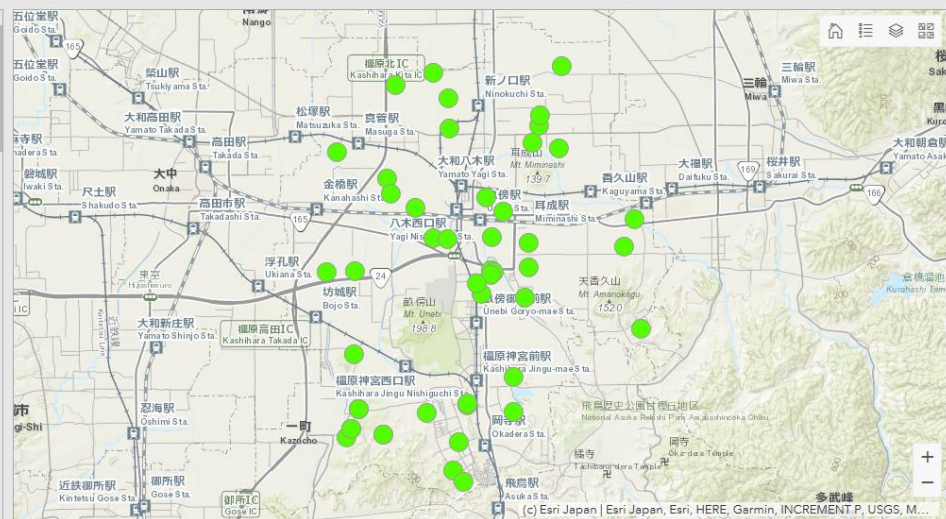
避難所状況【一覧】
平成30年台風21号

ステータス	名称	更新日時	ステータス	収容人数	許容人数	収容可能人数	収容率 (%)	操作
Map	白檀中学校体育館	2018/09/04 17:39:45	開放	0	545	545	0.00%	Q 詳細 編集
Map	白檀南小学校体育館	2018/09/04 17:39:40	開放	0	253	253	0.00%	Q 詳細 編集
Map	白檀北小学校体育館	2018/09/04 17:39:25	開放	0	390	390	0.00%	Q 詳細 編集
Map	敢傍地区公民館	2018/09/04 17:39:11	開放	0	118	118	0.00%	Q 詳細 編集
Map	白檀地区公民館	2018/09/04 17:38:59	開放	0	197	197	0.00%	Q 詳細 編集
Map	敢傍南小学校体育館	2018/09/04 17:38:39	開放	0	275	275	0.00%	Q 詳細 編集
Map	金橋小学校体育館	2018/09/04 17:38:38	開放	0	386	386	0.00%	Q 詳細 編集

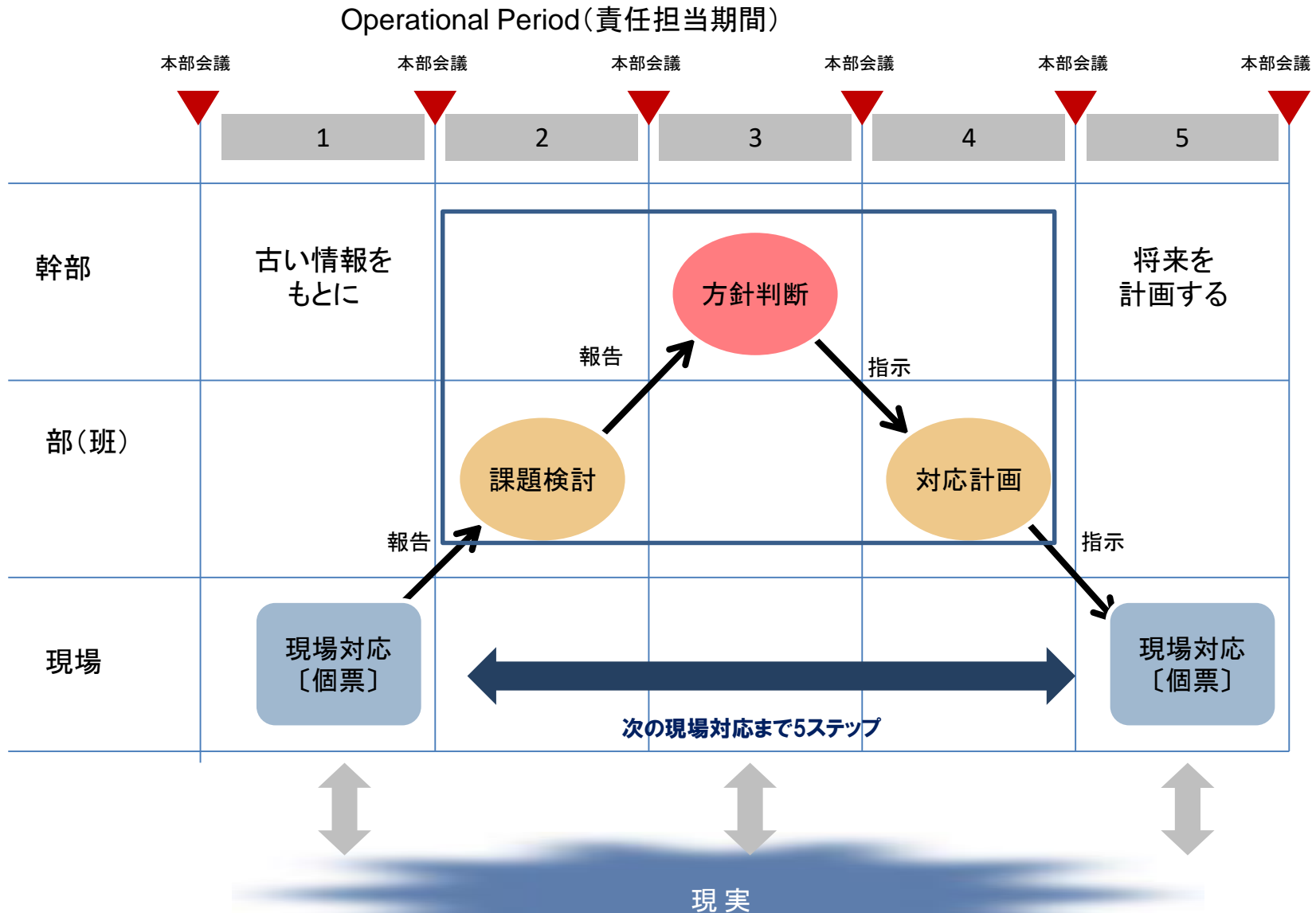
【避難支援・学校部】0302M02 避難所状況（避難者数）

Map	新沢地区公民館	2018/09/04 17:3	●	ステータス: 開放	収容人数: 0	許容人数: 149
Map	新沢小学校体育館	2018/09/04 17:3	●	ステータス: 開放	収容人数: 0	許容人数: 384
Map	八木地区公民館	2018/09/04 17:3	●	ステータス: 開放	収容人数: 0	許容人数: 818
Map	福社センター「やわらぎの郷」	2018/09/04 17:3	●	ステータス: 開放	収容人数: 0	許容人数: 399
Map	大久保コミュニティセンター	2018/09/04 17:3	●	ステータス: 開放	収容人数: 0	許容人数: 356
Map	権原市新沢千塚公園拠点施設	2018/09/04 17:3	●	ステータス: 開放	収容人数: 0	許容人数: 961
Map	耳成小学校体育館	2018/09/04 17:3	●	ステータス: 開放	収容人数: 0	許容人数: 121
Map	耳成地区公民館	2018/09/04 17:3	●	ステータス: 開放	収容人数: 0	許容人数: 121
Map	福社センター「やわらぎの郷」	2018/09/04 17:3	●	ステータス: 開放	収容人数: 0	許容人数: 121

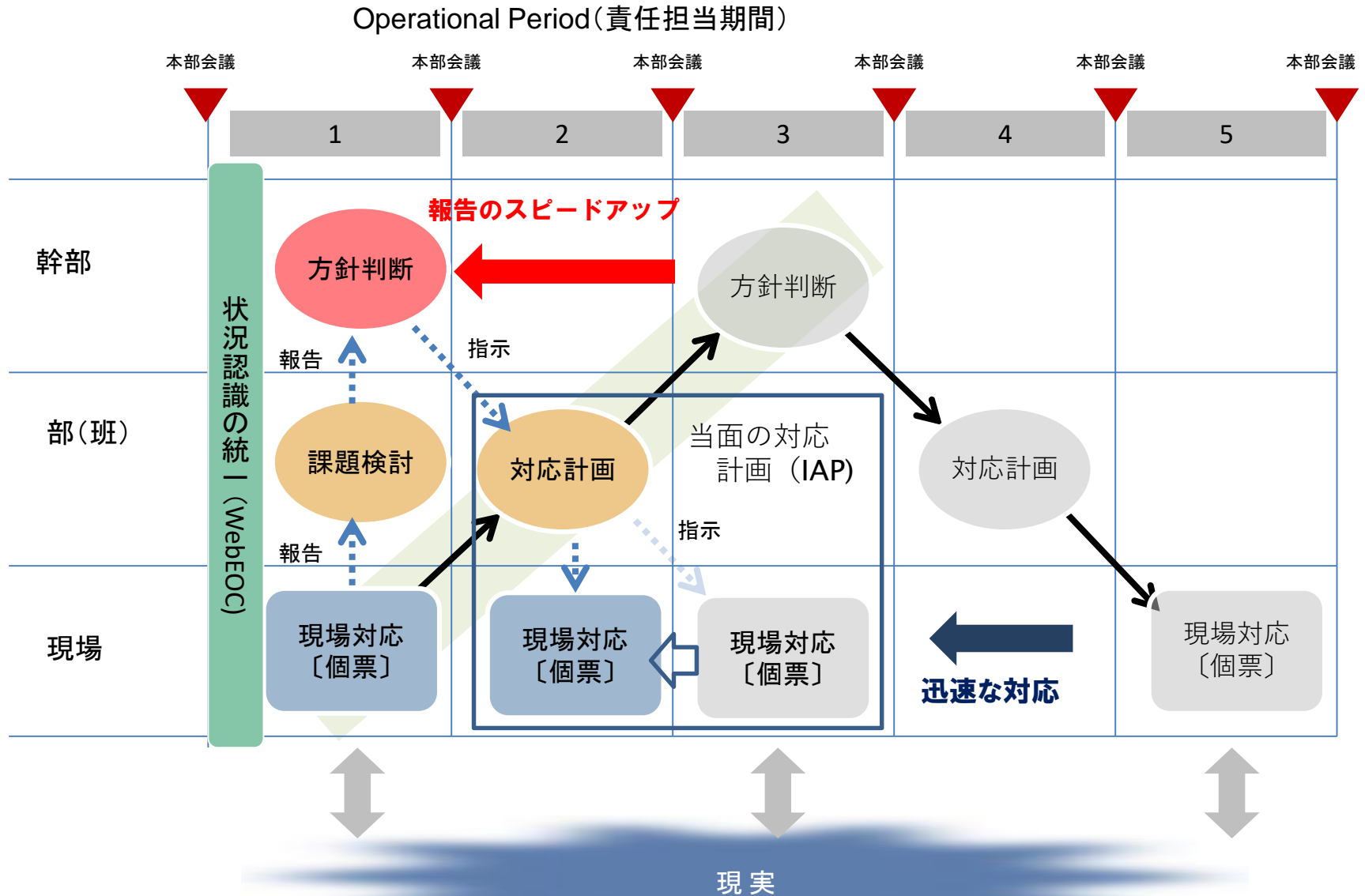
●	満杯
●	開放
●	閉鎖



災害対策本部(EOC)活動:現場とのずれをなくす



災害対策本部(EOC)活動:一つ先の責任担当期間の対策を作る



ICTを活用した災害対策本部

- 物理的に離れた場所（災害対策本部と各部署の対応拠点）の間をWebEOCでつなぎ、円滑なコミュニケーション、状況認識の統一ができる。
- SOPの徹底（使用者間でのWebEOCの使い方に関する共通の認識）によって、情報が正しく伝わり、管理されるようになった。
- 災害対応をオンラインで行う情報基盤を整備することにより、コミュニケーションや状況認識の統一は効率的になる。
- しかし、全てをICTで解決することはできない。システムはあくまで災害対応を円滑に実施するためのツール、最終的に重要となるのは人。人を育てることが災害対策本部の機能強化に繋がる。

災害対応力を向上させるための5つの枠組み

